

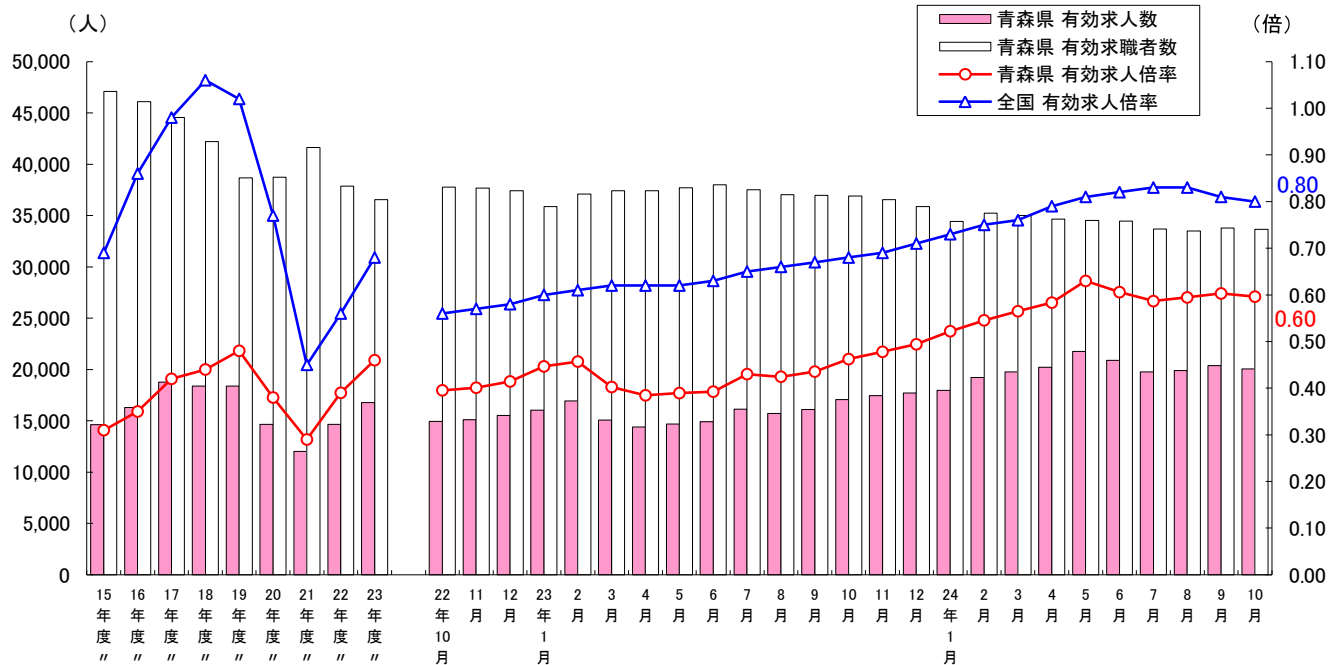
最近の雇用情勢について

(平成24年10月)

青森労働局

I 求人・求職・求人倍率の推移(季節調整値)・・・年度平均は原数値

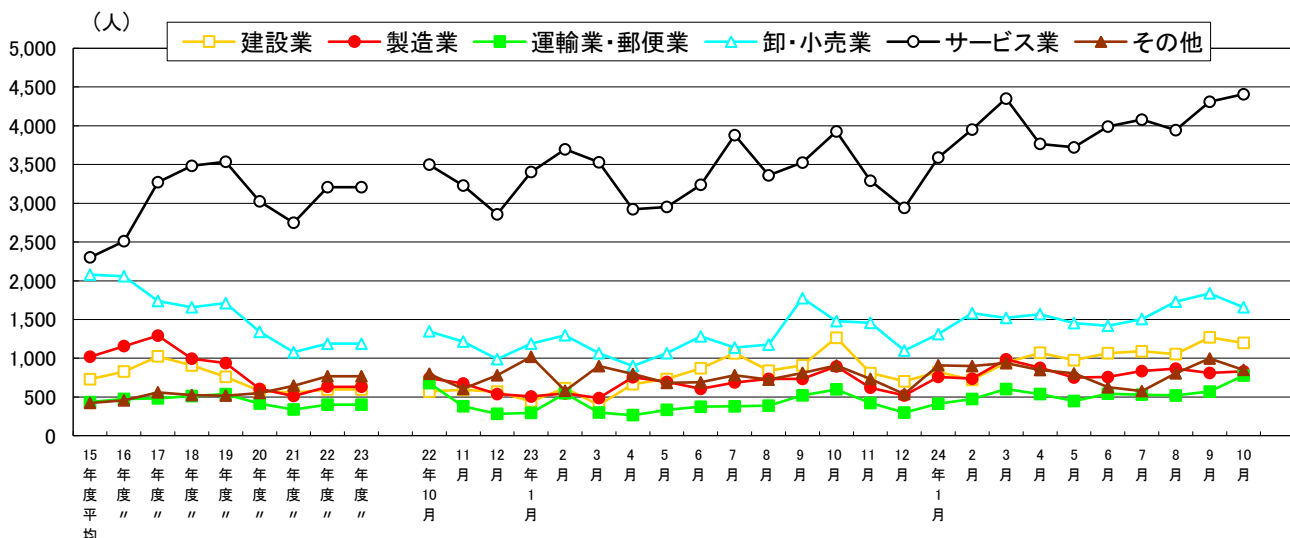
10月の一般職業紹介状況を見ると、有効求人数(季節調整値)は前月に比べ1.6%減少の20,054人、有効求職者数(同)は0.4%減少の33,640人で、有効求人倍率(同)は前月と同水準の0.60倍となった。



II 新規求人の状況(学卒を除きパートタイムを含む)

10月の新規求人(原数値)は前年同月比7.2%(651人)増加、前月比0.8%(74人)減少の9,720人。

産業別に前年同月と比較すると、農、林、漁業、運輸業、郵便業、卸売業・小売業、不動産業、物品賃貸業、宿泊業、飲食サービス業、生活関連サービス業、娯楽業、医療、福祉、サービス業で増加し、建設業、製造業、電気・ガス・熱供給・水道業、情報通信業、金融業・保険業、学術研究、専門・技術サービス業、教育、学習支援業、複合サービス事業、公務・その他等では減少となった。製造業では、食料品、飲料・たばこ・飼料製造業、窯業・土石製品製造業、業務用気化器具製造業等で増加し、繊維工業、鉄鋼業、非鉄金属製造業、電子部品・デバイス・電子回路製造業、電気機械器具製造業、情報通信機械器具製造業等では減少となった。

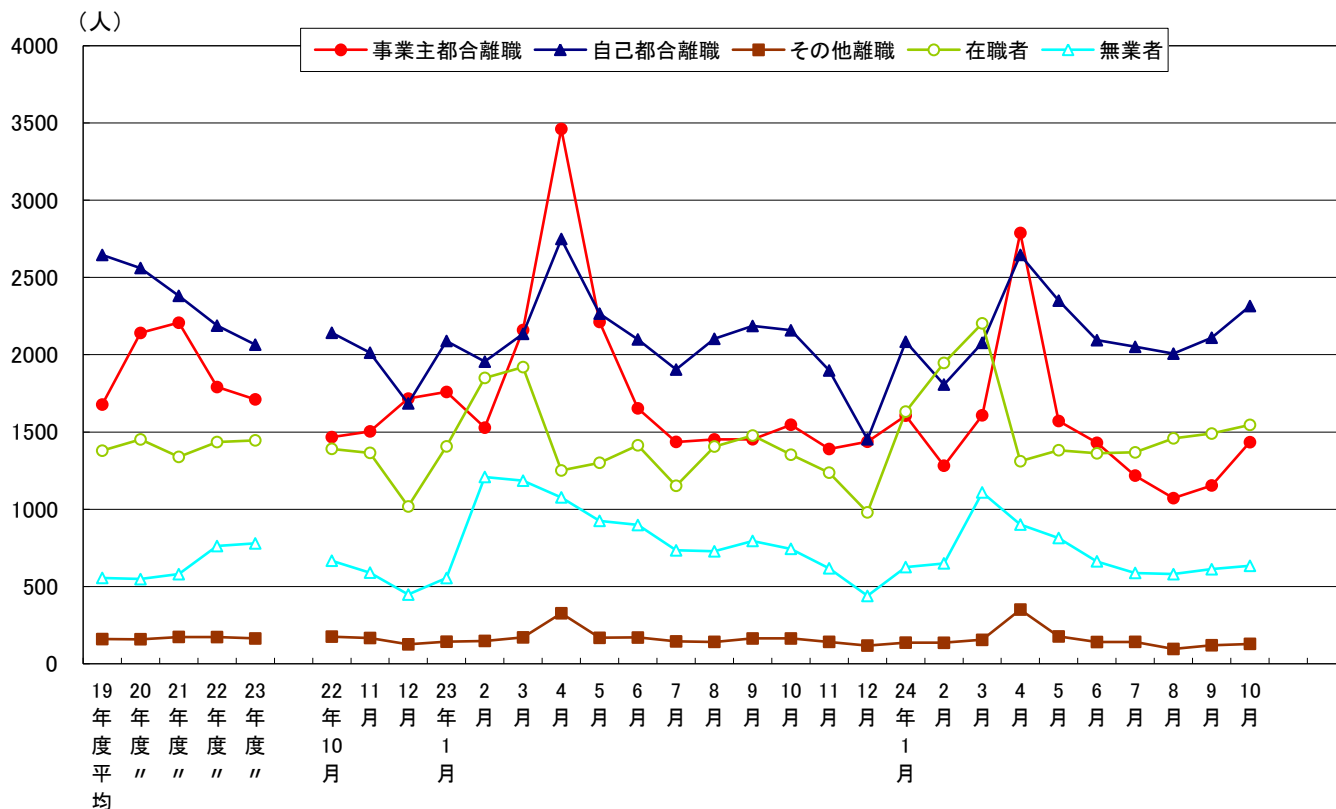


平成21年4月内容分より、平成19年11月改定の「新産業分類」での集計となっています。
 『サービス業』には、「学術研究、専門・技術サービス業」「宿泊業、飲食サービス業」「生活関連サービス業、娯楽業」「教育、学習支援事業」「医療、福祉」「複合サービス事業」「サービス業」を含む。
 『その他』には、「農・林・漁業」「鉱業」「電気・ガス・熱供給・水道業」「情報通信業」「金融・保険業」「不動産、物品賃貸業」「公務、その他」を含む。

Ⅲ 新規求職の状況(パートを除く常用)

10月の新規求職者数は、前年同月比1.5% (92人)減少、前月比10.4% (572人) 増加の6,058人。
 求職者を態様別に前年同月と比較すると、在職者は14.3% (193人)増加し、離職者は0.2% (9人) の増加、無業者は 14.8% (110人) の減少となった。

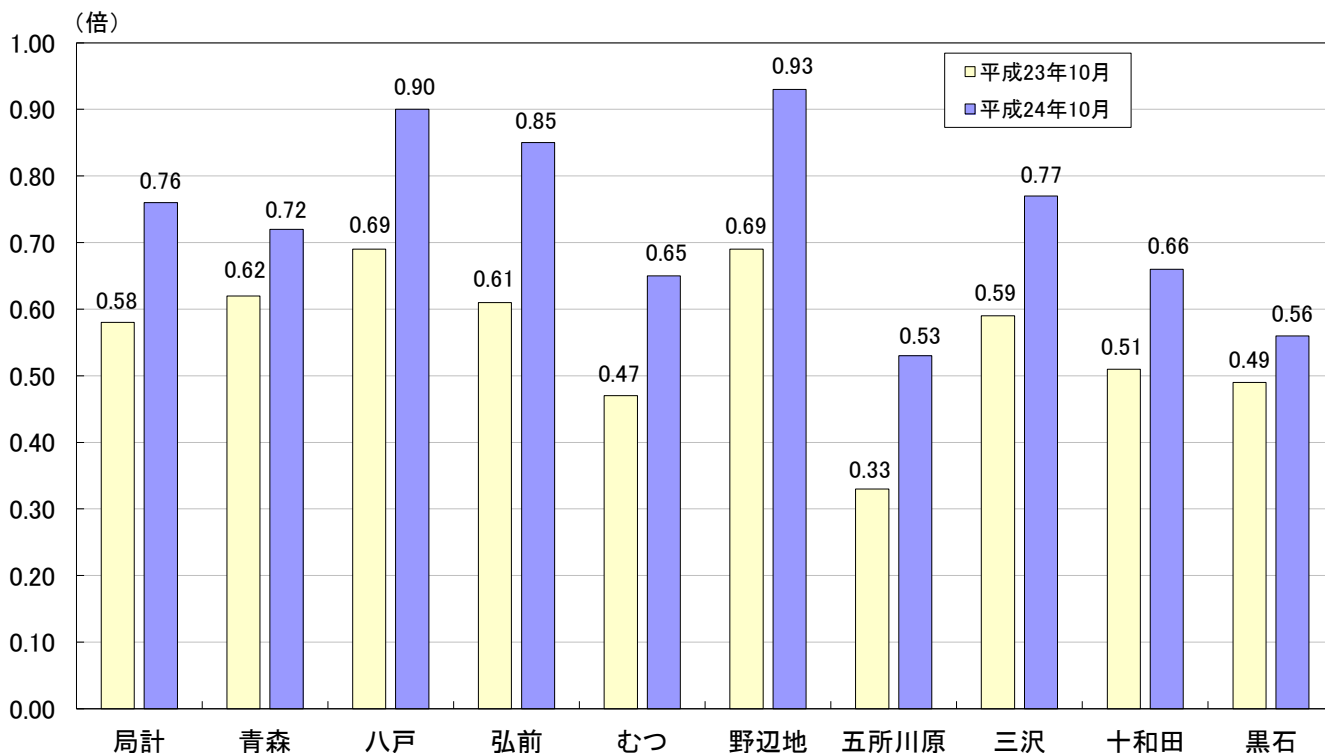
離職理由でみると、事業主都合は7.3% (113人) の減少、自己都合は7.3% (157人) の増加となった。



Ⅳ 安定所別求人倍率の状況(学卒を除きパートタイムを含む全数・・・原数値)

10月の局計の有効求人倍率(原数値)は0.76倍となり、前年同月を0.18ポイント上回った。

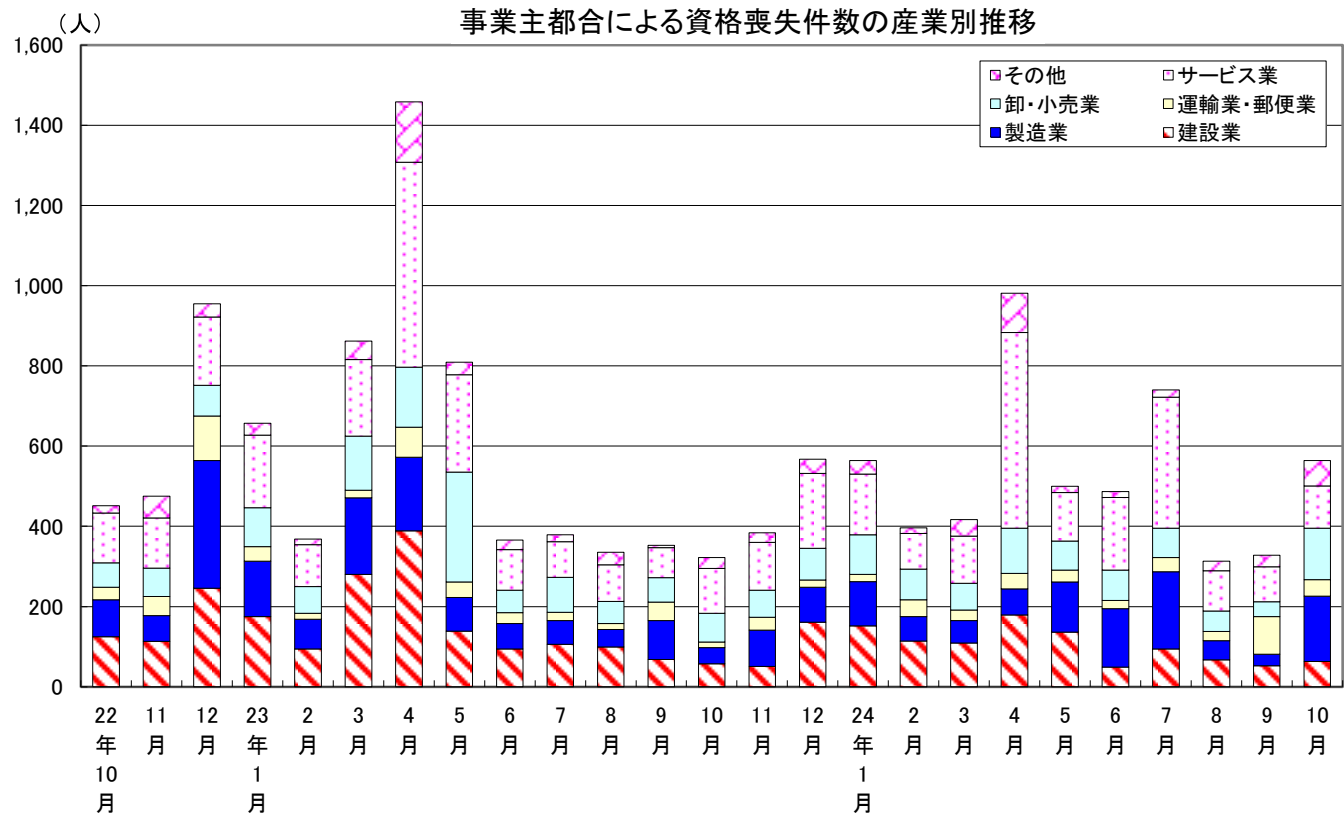
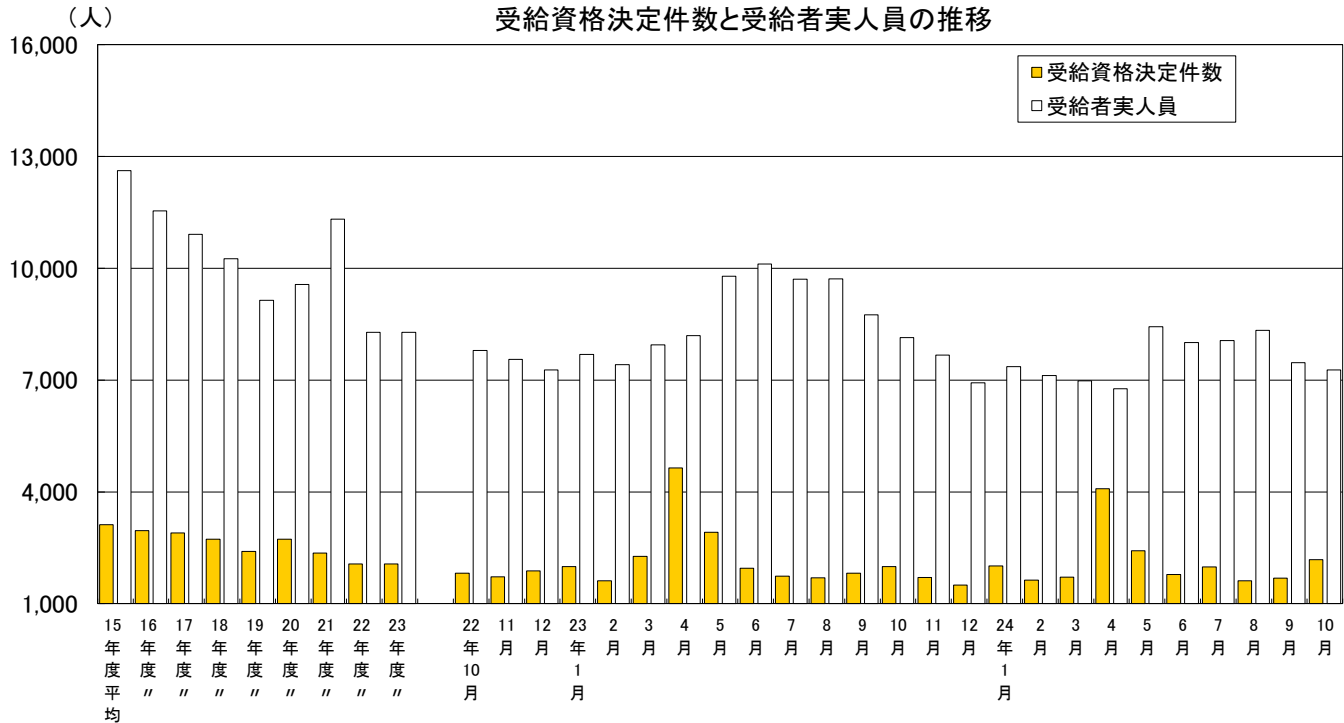
各安定所別の有効求人倍率は次のとおり。



V 雇用保険の状況

10月の受給者実人員（基本手当基本分）は、前年同月比10.7%（867人）減少し、前月比では2.7%（201人）減少の7,269人となった。また、受給資格決定件数は、前年同月比9.1%（181件）増加し、前月比では29.6%（498件）増加の2,180件となった。

資格喪失者（高年齢、短期特例被保険者を除く）のうち事業主都合による者は、前年同月比75.2%（242人）増加、前月比72.0%（236人）増加の564人となっている。



平成21年4月分より、平成19年11月改定の新産業分類で集計。
『サービス業』には、「学術研究、専門・技術サービス業」、「宿泊業、飲食サービス業」、「生活関連サービス業、娯楽業」、「教育、学習支援業」、「医療・福祉」、「複合サービス事業」サービス業を含む。